

広島県行政デジタル化推進アクションプランの令和 6 年度進捗状況について

1 要旨・目的

令和 6 年 2 月に改定し、取組を実施している「広島県行政デジタル化推進アクションプラン」の令和 6 年度の進捗状況を報告する。

2 概要

(1) 計画期間

令和 6（2024）年度から令和 7（2025）年度末までの 2 年間

(2) 取組の方向

県庁 D X の最終ゴールである「フレンドリー県庁」の実現に向け、これまで取り組んできたデジタル化の取組を加速し、デジタルイゼーションや D X により、県民及び職員がデジタル化の恩恵を「実感」できるよう取組を加速する。

(3) 根拠法令

官民データ活用推進基本法（平成 28（2016）年法律第 103 号）第 9 条

3 取組内容

課題の生じている局面ごとにプロジェクトを実施し、各プロジェクトにおいては、新技術へのチャレンジも掛け合わせ、既存施策の更なる進化・深化と新たな施策の展開により、「実感」へとつなげていく。

(1) プロジェクト 1：誰もがいつでもどこでも楽々手続 便利さ「実感」！

県民等が県に対して手続等を行う局面における県民等の負担軽減、利便性向上に向け、取組を実施している。

【進捗状況等】

- ・ 主要 107 手続を中心に「申請のための申請」等を行っている手続を洗い出し、建設工事等入札参加資格登録申請手続において、県内部での連携により、納税証明書の提出を不要とするなど、手続の一部において、申請者の負担軽減が図られている。
- ・ 電子申請システムの入力しやすさの追求、外部サイトとの連携や、A I チャットボットの精度向上など、手続がより簡単で使いやすくなるための継続的な改善により、申請システム利用者の満足度も向上している。

実感ポイント	指標	水 準		令和 6 年度進捗状況
		プラン策定時	令和 7 年度末	
手続添付書類等の簡素化	申請のための申請の廃止等、簡素化した数	0 手続	15 手続	3 手続（納税証明書省略等）改善済み。12 手続着手済み。
データでの許認可通知等の受領	電子署名の実装	—	実装、運用	実装に向けて開発段階
オンライン申請の使いやすさ向上	電子申請システム利用者の満足度向上	満足率 59%	満足率 70%	R6 調査結果：満足度 80%
デジタル活用への不安解消	スマートフォン講習会等の開催（市町）	全市町開催	全市町開催	全市町開催
キャッシュレス決済導入の拡大	キャッシュレス決済可能手続数	25 手続	64 手続	3 手続（教職員免許状授与申請等）導入済み。36 手続着手済み。

(2) プロジェクト2：スムーズ処理で効率化「実感」！

県が実行・発信する局面における効率化、サービス向上に向け、取組を実施している。

【進捗状況等】

- ・ アナログ規制の見直しについて、方針を策定した上で、対面などの対応を定めているものについて、条例、規則等の改正等を実施している。
- ・ 県保有データについて、県民等にとって使いやすい形で積極的に公開したことにより、ダウンロード数が大きく伸びるなど活用が図られている。

実感ポイント	指標	水 準		令和6年度進捗状況
		プラン 策定時	令和 7年度末	
手続処理の効率化、時間短縮	デジタル一気通貫手続数	—	15 手続	<u>2手続</u> (RPA活用によるシステムへのデータ取込)改善済み。12 手続着手済み。
	RPAを活用した業務改善による処理短縮時間	—	各年 1,500 時間	14 業務に RPA を導入し、処理時間を <u>約 1,300 時間短縮</u>
デジタル活用による現地対応等改善	アナログ規制の見直し(方針策定、見直し)	—	策定 随時改定	方針策定の上、見直し作業により <u>改正等を実施</u>
活用しやすいデータの充実	データサイト活用状況 ダウンロード数/月	27,000 回 (1,100 データ)	33,000 回 (1,300 データ)	<u>164,000 回</u> (1,148 データ)
データ利活用のスキル充実	データ分析のための研修の受講状況	—	各年 100 人	<u>87 人</u>

(3) プロジェクト3：デジタル環境のアップデートで デジタル効果「実感」！

デジタル効果の発揮に向け、基盤となる県庁におけるデジタル環境の改善のため、取組を実施している。

【進捗状況等】

- ・ 職員用端末について、ワークスタイルや業務内容に即した機種調達や、通信環境の改善を行うとともに、ペーパーレスの更なる徹底により、業務自体のデジタルシフトを推進している。
- ・ 情報システム人材育成プランに基づき、デジタルスキルの評価の可視化を行うとともに、県・市町共同で人材を採用、育成、活用する「DXShipひろしま」の枠組みにより、情報システム人材を 15 市町へ配属した。

実感ポイント	指標	水 準		令和6年度進捗状況
		プラン 策定時	令和 7年度末	
デジタル環境の改善	業務で利用するデバイス機器の満足度	47.5%	左記数値からの上昇	機能が向上した <u>職員用端末の調達を完了</u>
業務のデジタルシフトの拡大	紙の購入状況	R2年度 約 3,630 万枚	約 1,815 万枚	<u>1,612 万枚</u>
デジタル技術を活用できる人材の充実	職員の研修受講状況	累計 2,000 人	累計 4,000 人	一般研修等を通じ <u>4,985 人</u>
	情報システム人材の 応用情報技術者試験等の合格者	40%	75%以上	<u>50%</u>
	上記人材の育成の 仕組み構築状況	市町と一体 で整理中	DXShip に より確立	<u>15 市町へ配属</u> 。引き続きシェア会議を通じて調整
システムの全体最適化の進展	具体的方針の策定	—	策定の上、 活用	システム連携の在り方、セキュリティ面の <u>具体的方針を策定</u>
	方針によりデジタル部門 で関与したシステム数	—	5件	基幹系システムを中心に <u>構築段階から支援を実施</u>
行政のシステムの安定稼働	インシデント発生状況	0件	0件	<u>0件(庁内システム)※</u>
	セキュリティ検証、運用評価	—	計画的に実施	<u>セキュリティ検証や標的型攻撃メール対処訓練を実施</u>

※R 6 年度は外部 Web サイトで 2 件

4 その他（関連情報等）

- 広島県行政デジタル化推進アクションプラン

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/265/digital-actionplan.html>